

登録コード	A3594393	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究				担当教員	若林 剛志	
英文授業名	Thesis Research						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				食料・農業・農村の社会経済に関する知識を習得し、主として経済学的視点から問題を考察する能力を修得する		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				食料・農業・農村の社会経済に関する知識を習得し、主として経済学的視点から問題を考察する能力を修得する		
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				食料・農業・農村の社会経済に関する知識を習得し、主として経済学的視点から問題を考察する能力を修得する		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				食料・農業・農村の社会経済に関する知識を習得し、主として経済学的視点から問題を考察する能力を修得する		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	食料・農業・農村にかかる問題とその要因を学問的に明らかにし、課題解決方法を検討します。農村調査を実施し、理論と実態の両面から問題を考えていきます。						
(5)授業計画	農業経営学及び農業経済学の書籍や論文、統計データを整理し、その内容を発表するとともに、内容について議論します。あわせて農村調査や実習を行うことにより、研究手法を学びながら研究計画を作成します。 最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします。						
(6)自主学習の指針	研究テーマは、受講学生の興味や関心を重視して決定します。専門書や研究論文を読み込むとともに、食料・農業・農村の現場を視察する機会を作り、視野を広げ、知識を深めてください。 卒業論文のプレゼンテーションでは、パワーポイントを使用しますので、本授業でも積極的に活用してください。						
(7)成績評価の基準	1) 情報・データの検索・収集能力、2) 収集情報の整理能力、3) 論理的な論文取りまとめ能力、4) 問題点や課題の考察能力、を総合的に評価する。						
(8)事前事後学習の内容	研究テーマや対象地域に関する文献調査を行うとともに、積極的に視察や見学へ赴き、情報収集を進めるとともに、自主的に問題意識を高めるよう努めてください。 事前学習としては、調査・研究に当たり、関連の論文等を適時収集して読むことが求められます。また、調査や実験結果を得た後、事後学習として適時適切などりまとめを行い、結果の妥当性などを関連論文と比較検討することが求められます。必要な事前・事後の時間外学習を充分に行うことが必要になります。						
(9)テストやレポートの予定	テストやレポートは実施しません。						
(10)成績評価の方法	専攻研究発表と研究論文の内容で評価します。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時対応します。						
(12)履修上の注意	研究テーマは、自分の興味・関心のみならず、社会的意義を考慮して選択することが望ましいです。 普段より情報収集を行い、農業に対する問題意識を持つことが求められます。 研究テーマにより、社会調査が研究手法の中心となるため、十分な調査準備とコミュニケーション能力が必要となります。						
【教科書】	特に指定しません。						
【参考書】							